



発行所 片貝新聞社 〒947-01 小千谷市片貝町10367-4 TEL・FAX 0258-84-3246 編集発行人 吉原芳郎 題字 黒崎敬渌氏



JA片貝町 シンボルマーク 天の恵み地の恵み

農協の合併問題は？

JA片貝町は当面は拒否

組合員、町民にとっても合併は不利

JA片貝町(佐藤仁組合長)は、JA小千谷市とJA川口町から合併の誘いを受けているがこれを拒否している。JA片貝町は去る3月26日から4月2日まで、管内十二会場で行った年度事業報告と8年度事業計画説明会を行なったが、この二会場全てで佐藤組合長が「当面は合併を拒否している」と明言、組合員等を安心させている。

JA小千谷市とJA川口町は、昨年11月13日にJA小千谷市のグリーンパークで小千谷市川口町地域農協合併推進協議会を発足させ、平成9年3月の合併を目指している。両農協、特にJA小千谷市は同じ行政区に存在するJA片貝町を合併の仲間に入れていたといっているが、JA片貝町は「条件整備がまだの状態では時期尚早、役員会でもしばらく様子を見るべき」と結論を得ていない。と合併の誘いを断わった。

役員改選にあたり

春を迎え年度変わりとなり片貝でも各種団体の役員が次々入替わりた。新しく選ばれた役員は、その役割を胸に張り切っている。金銭的には何らのメリットもなく文字通りボランティア精神で、これからの取り組みに力を入れていく。金銭的には何らのメリットもなく文字通りボランティア精神で、これからの取り組みに力を入れていく。

主張

役員改選にあたり、春を迎え年度変わりとなり片貝でも各種団体の役員が次々入替わりた。新しく選ばれた役員は、その役割を胸に張り切っている。金銭的には何らのメリットもなく文字通りボランティア精神で、これからの取り組みに力を入れていく。

二万円もJA片貝町の方が良い状態という。加えてJA小千谷市が置かれている状況は、今後明るいものではない。JA小千谷市に比べて、JA片貝町は文化の中心になれなかった。文化の中心を担ったJA片貝町だ。何か大きな行事の際にJA片貝町の職員が活躍するのがあるが、市役所裏に大駐車場完備の原宿がオープンしたのが打撃となったように、さらに結婚式場も新たに建設されるとのこと、そうなるにグリーンパークも打撃を受けることになる。このような条件下で、JA片貝町としてはスナリと合併に同意する訳にはいかないのである。

JA片貝町が業績優良であるのは、それなりに企業努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。

JA片貝町が業績優良であるのは、それなりに企業努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。

JA片貝町が業績優良であるのは、それなりに企業努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。努力しているからである。

4月18日臨時市議会

百条委軌道修正へ

小林市議が修正動議出す

臨時市議会が4月18日開会され、注目の入札案件調査特別委員会(百条委)が、広井庄一委員長、十名の今後を決定する予算案の修正動議が提出された。修正動議は、百条委の修正動議が可決された。百条委の修正動議が可決された。百条委の修正動議が可決された。

かたかい春秋

今年の4月は、矛盾点に気づいた少年、とすくには断定出りあえず対症療法を急ぎ、異常であった。であろう、先の臨時市議会でも軌道修正したようである。その軌道修正に片貝町の四市議が歩調を揃える道徳心のなさ、他人た。大勢の町民の願いに見つからなければ何をしてもいいという利己中し主義は何とも嘆げかわる。皆で英知を出し合っしてよりよい利用法を考えねばならない。▼ゴールデンウィークまっさかりである。くれぐれも交通安全事故など起こさぬよう、解決にはならないが、とまた火の元にも注意!

公民館長交替する

新しく吉原幸至氏就任

この度、黒崎力男前公民館長に替って新たに吉原幸至氏(写真)が就任した。吉原さんは、昭和55年に渡津生まれの66才。昭和30年に教員になり初任地が当地片貝小学校。当時4年生の十三鶴会の人達から初めの教員という。以来36年間の教員生活の中で、南中学校校長、広神村中学校を歴任し平成元年から3年の2年間片貝小学校校長を努め退職。一男一女があるがそれぞれに独立。現在は奥の百合子さんと二人暮らし。趣味は読書、野菜作りなど。各種葉草をブレンドしたオリジナル葉草茶を作り出している。また、歴史客にも詳しく、教員時代に長岡市史編纂にも参画した経歴がある。

小林市議は修正動議の提出理由を「百条委は勉強したが、残念ながら法律の専門家から見ると、現段階では再検討が必要」と述べた。百条委の修正動議が可決された。百条委の修正動議が可決された。百条委の修正動議が可決された。

山本助役と西ノ入収入役

共に再任される

十八日の臨時市議会において、小出市長から市議会に對して、四月末で任期満了となる助役と収入役の人選について、現職の二名の再任を提案し、これが認められた。山本真助助役(六二、五五)、西ノ入一収入役(六五、船岡)の続投が決まった。



無記名の投票の結果は山本助役が十八対六、西ノ入収入役が二十三対一でそれぞれ再任された。

それ賛成多数であった。両者共平成四年五月一日から一期を務め、二期目に入ることにしたが、小出市長は来年四月で任期満了となるため、二役もそれまでの期間と見られている。

問われる道徳心 少年のいたずらか?

体育センター荒される

昨年4月より片貝スポーツセンター(旧中学校体育館)を片貝町モデル施設運営委員会(会長山口益宏)が市より借り受け町民のスポーツの場として使用して来たが、この所いたずらが頻りに起き関係者の頭を悩ませている。

4月7日(日)支所前にて今年のリサイクル活動が開始された。天候にも恵まれ冬眠していた資源

リサイクル活動始まる



が次々と持ち寄られ山となつて行った。今年で4年目に入った作業はさすがに手慣れそれぞれに整理されて行く。町民の間にリサイクル意識はすっかり定着し持ち寄る人は年々増加しているという。

今年初めて顔を出してくれる人も多勢見受けられさらに手伝って下さる人も増えともうれしく思いますが、ただ悲しいことにあきまのポイ捨ては後を絶ちません。家庭においても町をゴミでよごさない様子があつてもいいと思つて行きます。今年も自分達の出来ることを一つずつ実行して行きたいと思つて行きます」と吉井会長は明るく語る。

佐藤邸利用を提言 春季大祭でサービス かたかい組ここにあり

浅原神社春季大祭が24、25の両日開催されたが、かたかい組がまたもや大活躍している。

浅原神社境内にちよつと風変わりなボンボリが点灯した。従来は商工連合会が設置していたが、同会が解散してしまつたため、かたかい組が引き継いで実施した。今回参道に登場したボンボリは、プラスチック製で、従来の形とは逆に下が広くなつている(写真参照)。各店舗や事業所名が書かれていて、その店にちなんだ絵柄が施されてるのも大きな特徴となっている。

かたかい組は「かわらばん」で佐藤邸跡の利用について特集している。小紙3月号で特集した際、かたかい組にも回答を求めたが、その段階では検討中であることを後日明らかにするつもりである。



佐藤邸跡はこのように利用を!!

片貝 ヒューマンウォッチング 松村片貝園長語る

松村片貝園長語る

松村雅子園長(54才)は片貝保育園には、今回2回目の赴任となる。1回目は20年前の保育所開設当時であった。(ちなみ3年前から保育所を保育園と変更したのはイメージアップを計ろうとする父兄の強い要望で実現したもの。)

片貝保育園には、今回2回目の赴任となる。1回目は20年前の保育所開設当時であった。(ちなみ3年前から保育所を保育園と変更したのはイメージアップを計ろうとする父兄の強い要望で実現したもの。)

松村雅子園長(54才)は片貝保育園には、今回2回目の赴任となる。1回目は20年前の保育所開設当時であった。(ちなみ3年前から保育所を保育園と変更したのはイメージアップを計ろうとする父兄の強い要望で実現したもの。)

松村雅子園長(54才)は片貝保育園には、今回2回目の赴任となる。1回目は20年前の保育所開設当時であった。(ちなみ3年前から保育所を保育園と変更したのはイメージアップを計ろうとする父兄の強い要望で実現したもの。)

着任しました どうぞよろしく

【小学校】

山谷小学校から
大橋法子(28才)

片貝の皆様、初めまして。北蒲原郡豊浦町生まれです。教員になって7年目に入りましたが、子供たちが一杯努力したり悩んだり、楽しんだりする姿に接する時ほど、教員になって良かったなと思う時があります。片貝でも、こんな経験をたくさんしたいと思つています。

スポーツと音楽、そして温泉に入ることが私の楽しみです。



みです。どうぞよろしくお願ひいたします。

柳 健(22才)

この春、新潟大学を卒業し、ここの片貝で教師生活をスタートすることになりました。見聞の多いことが、一日一日をこなすことが一杯の毎日ですが充実した日々を送っています。

小学校の教師となることは、一人でも多くの子どもたちが、何らかの夢を持つことが出来るよう、そして学校へ来るのが毎日、毎日楽しくて仕方がない子ども達が見えるような学校



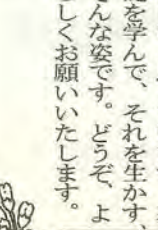
【中学校】

栃尾市刈谷田中学校から
小関 茂(43才)



教務主任、数学野球部顧問。趣味は、卓球、囲碁、将棋です(いずれもたいしたことはありません)。

ご当地「片貝」は、この新聞、日本の四尺玉に象徴されるように、とても町

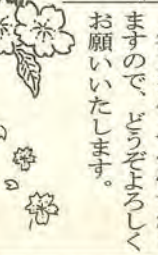


三條市立第一中学校から
杉田真紀(25才)



英語・美術・テニス部顧問。私の得意技は二つあります。まず一つは似顔絵。そしてもう一つは、「良いこと・楽しいことを見つけて、たとえ苦手と感

じるものでも楽しもうとすること。たまたま、この

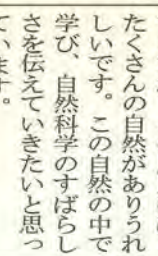


新潟市立山陽中学校から
堀 雪子(26才)



理科・バレー部副任。旅が好きで、東北・関東・中部地方あたりはよく出かけます。片貝にも2度、花火を見ることがあります。

「次は、花火を見ながら友人と、次の転勤先、このあたりになつたりして、な

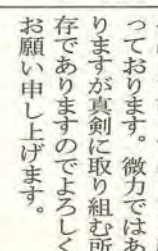


長岡市立江陽中学校から
三富ゆり子(才)

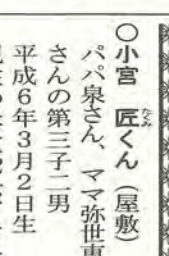


部活動と学習を見事に両立させている片貝中学校で勤務できることを嬉しく思います。

「自己共に大切に」生徒に求めたいと思います。



○小宮 匠くん(屋敷)

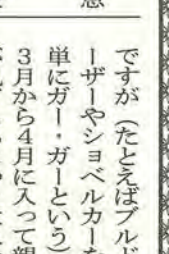


パパ泉さん、ママ弥世恵さんの第三子二男。平成6年3月2日生。現在の体重12kg、身長85cm。

Q名前の由来



○吉井絹子ちゃん(一之町)

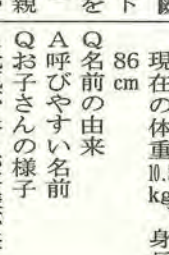


パパ進さん、ママ量子さんの第三子二女。平成6年1月13日生。現在の体重11.5kg、身長86cm。

Q名前の由来



Q名前の由来



Q名前の由来

Q名前の由来

